

## 忠類のできごと

### 交通安全の願いを込めて手作りの記念品をプレゼント

忠類小学校新入学児童への記念品として、五人会のメンバーがうさぎの飾りが付いた手作りのティッシュ入れを、千葉正夫忠類小学校校長に手渡しました。

今年で15年目になるプレゼントですが、始めたきっかけは、会員のお孫さんが入学するときに何か出来ないかと思い、手作りの品を贈るようになったそうです。

これまでに、干支の飾りが付いたお手玉などを毎年プレゼントしています。

代表の山田きみ多さんは、「高価な物は買ってあげられないので、手作りの物を大切に末永く使ってほしいです」と校長に手渡し、校長は、「気持ちのこもった手作りのものがいいですね」と笑顔で受け取りました。

忠類地域で活動されている五人会のみなさんには、これからも交通安全を願い、子どもたちや地域の人たちの笑顔のために活躍されることを期待しています。

五人会が新入生記念品贈呈



### 明和水道利用組合が長年の活動に幕

4月12日、ナウマン温泉アルコ236で、明和地区水道利用組合の解散総会と解散記念祝賀会が開催されました。

昭和48年から38年間の長きにわたり、ライフラインとして重要な水を利用するため、これまで、組合員のみなさんが協力し、地震や台風など数々の自然災害や漏水事故などから、施設の適切な維持管理に努められてきました。

このたび道管畑地帯総合整備事業の忠類東部簡易水道が整備されたことにより、その役割を終えたため、組合を解散することになりました。

功労者に記念品贈呈



解散総会集合写真



解散総会では、今まで水道利用組合運営にご尽力された10人の功労者の方に解散記念式典実行委員会の大和田委員長から感謝状が贈られました。その後の祝賀会では、38年間の水道維持管理活動を振り返り、思い出話に花が咲きました。

※10～13ページの「まちのニュース」に忠類地域のニュースも掲載していますので、そちらもご覧ください。